

平成28年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜農林高等学校

学校番号

15

I 自己評価

1 学校教育目標	<p>【目標】校訓「不撓不屈」の精神のもと、生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばし「豊かな心をもつ自立した人間」を育て、進路実現を図る。</p> <p>【方針】キャリア教育を積極的に推進し、逞しく生きる力を身に付けるとともに、本県の産業に貢献できる人材の育成を図る。</p>	
2 評価する領域・分野	◇教育課程・学習指導	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<p>・学習指導、教職員の取組に対して、生徒、保護者の両者から良好な評価を得ることができた。「授業の教え方や説明が分かりやすい」生徒の81%回答。「授業を通して一人一人の能力に応じた指導を行っている」保護者の76%回答。これらのことは、重点目標である、「創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開し、生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばす」取り組みの成果とも考えられる。</p>	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<p>◇基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむ。</p> <p>◇学習意欲を向上させ、主体的に学習に取り組む態度を養う。</p> <p>◇課題の発見・解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習（アクティブラーニング）を取り入れた、授業を積極的な推進するとともに、その指導法について研究を進める。</p>	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・教務部内に学習研修係を置き、研修会、教科研究会等を推進する。	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 授業研究月間における授業研究の推進	(1) 研究会、研究授業を生かした授業改善	
(2) 教科、学科での授業改善に向けた研究会	(2) アクティブラーニングの指導法の研究	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> ・観点別評価規準を設定した授業の実施 ・課題の発見、解決に向けて主体的、協働的に学ぶ学習を取り入れた授業の実施 ・専門教育の充実をさらに図り、科学的素養を養うことを主眼においた授業の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ①授業のねらいに迫る指導と評価の一貫性を大切にした授業が展開できたか。 ②生徒の発言や発表等の場を充実した授業が展開できたか。 ③主体的に学習に取り組む態度が養成できたか。 	<p>A (B) C D</p> <p>(A) B C D</p> <p>(A) B C D</p>
11 成果 課題	<p>○課題の発見・解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習（アクティブラーニング）を取り入れた授業を積極的に推進したことにより、学習意欲の向上と主体的に学習に取り組む態度の養成をすることができた。</p> <p>・○専門教育の充実並びに、SSH事業を通して学会等外部での研究発表の場が増え、知識・技能の習得とともに思考力、判断力、表現力の育成にも大きな成果が上がっている。</p> <p>▲ルーブリック作成に関する研究を通じて、学習指導の在り方を見直し、個に応じた指導の充実を図っていく必要がある。</p>	
12 来年度に向けての改善方策	<p>総合評価</p> <p>(A) B C D</p> <p>・「どのように学ぶか」という、学びの質や深まりを重視し、アクティブ・ラーニングの視点から不断の授業改善が必要である。</p> <p>・生徒の学びの深まりを把握するために、ルーブリックなどの研究が必要である。</p>	

2 評価する領域・分野	◇進路指導	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の8割以上が進路情報の提供、将来の希望に沿った具体的な進路指導について概ね満足している。 ・保護者の8割以上が進路説明会の内容、進路情報の提供、生徒への進路希望に沿った適切なアドバイスについて概ね満足している。 	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇キャリア教育の観点に立ち、自己の在り方生き方を考えさせながら、主体的に進路を選択できる能力や態度を育成する。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・系統的、体系的に進路意識を高めることができるよう、各分掌、学年、学科、教科と連携を密にした校内体制をとる。	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) キャリア形成を意識した系統的、体系的なガイダンス及びLHRの実施 (2) 学年、学科と連携した進路相談・指導の充実、適切な情報提供	(1) 学年進行とともに進路希望の具体化の程度、および希望する進路先への決定割合 (2) 生徒・保護者等を対象とするアンケートによる評価の状況	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の進路目標に応じたガイダンス等の実施 第1学年：関連分野のみならず幅広く職業を理解させる 第2学年：職種別、進学分野別の説明会を実施し進路選択に必要な情報を収集させる 第3学年：大学別説明会、就職・公務員説明会を実施、進路決定に向けた具体的な対策を立てさせる。 ・進路希望に応じた進学補習、小論文指導、面接指導の実施 ・3学年において生徒の進路希望に応じた指導やサポート体制の充実 	① 学年進行とともに進路目標を明確化し、進路未定者が減少しているか。 ② 3年進級時には全員が進路希望を具体化しているか。 ③ 進学、就職ともに概ね希望の進路先に合格できたか。 (アンケートの満足度は高いか)	A (B) C D A (B) C D A (B) C D
11 成果・課題	○生徒は、進路情報の提供、将来の希望に沿った具体的な進路指導について概ね満足をし、希望の進路先にも合格をしている。 (公務員合格者の現状維持、6割の生徒が進学を希望し概ね希望の学校に合格できた。) ▲より高い目標を持たせ、安易な進路選択(入れる学校・職場)をすることがないよう指導する必要がある、また、それに対応できるよう支援体制を充実させる必要がある。	
12 来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・各学科、各分掌、学年、各教科との連携に努め、情報提供とキャリア・カウンセリングを通して、適切な進路選択ができるよう支援を充実する。 ・目標に達成に向けて生徒が主体的に具体的な行動できるよう情報提供と相談、支援の充実を図る。 	

2 評価する領域・分野	◇生徒指導・教育相談	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体として生徒は落ち着いた生活ができている。 ・年々規範意識が向上している。 ・各生徒の個性を理解し、自己指導能力を高められるような指導が展開されている。 ・保護者からも学校の指導に対し理解がよく得られている。 	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	・学校の教育目標の観点に立ち、岐農三訓「時を守り 場を清め 礼を正す」の定着を図る。	

	(1) 基本的な生活習慣（身だしなみ、遅刻、あいさつ）の指導徹底。 (2) 生徒の安全と命を守る教育の推進を図る。 (3) 教育相談機能の充実を図る。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・生徒指導部内及び職員間の共通認識を図る ・生徒情報の共有化を図る	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) イエローカード指導、遅刻指導の継続 (2) 登校指導や交通安全の啓発運動の実施 (3) 迷惑調査結果の迅速かつ真摯な対応、教育相談週間の実施（年3回、時間確保）	(1) 客観的に身だしなみを状況、外部からの評価、遅刻者数の増減 (2) 交通マナーと交通事故発生数 (3) 不登校や問題を抱える生徒の適切な対応	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
・定期的な点検指導。教頭の遅刻指導継続中。 ・登校指導、自転車点検、ハザードマップ作成。 ・教員間の連携、情報共有。教育相談機能の充実	①身だしなみは整っているか。遅刻者数はどうか。 ②交通マナーはどうか。交通事故発生件数はどうか。 ③不登校生徒の対応は十分か。	A B C D A B C D A B C D
11 成果課題	○身だしなみに対する規範意識が定着してきた。 △遅刻者は年間300件程度で推移している。通院後の登校も目立った。 ▲交通事故報告数20件と、まだまだ発生率が高い。自転車通学者の交通マナーの低下を防ぐとともに、事故を起こさない意識を高める具体策が必要。 ▲ネットパトロールの指導を受ける生徒が減少したものの、迷惑調査などからはインターネット上での情報モラル違反があると考えられる。 △教育相談課が組織的に機能したためか、1年生の不登校者数が減少傾向にある	総合評価 A B C D
12 来年度に向けての改善方策案	・交通事故件数を減らすための活動として、MSリーダーズなど生徒が主となった活動を展開したい。 ・教育相談機能の定着が図れるよう、より一層、組織的に活動していく。	

2 評価する領域・分野	◇特別活動	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	・授業以外の学習の機会が多く学校行事（岐農祭、体育祭、球技大会など）や部活動が活発であるとしている。 ・LHR活動や生徒会活動の内容に、やや物足りなさを感じている。特にボランティア活動については、その大切さに触れ活動の機会を与えてほしいとの声がみられる。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇学校への帰属意識を高め、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・特活指導部と学科、学年会、担任との連絡と連携を図る。	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 生徒会行事の円滑な運営と生徒会役員のリーダーシップを育てる。 (2) 他の教育活動との連携を図った生徒会活動の充実を図る。 (3) 部活動の活性化と充実を図る。 (4) 各種委員会活動の充実と自主的なホームルーム活動の実施を図る。	(1) 執行部員の連携が図られ、スムーズに行事の運営を進めることができたか。生徒会役員のリーダーシップを育てることができたか。 (2) 学校行事の準備を計画的に進め、各分掌と連携をとりながら進めることができたか。 (3) 各種県大会以上の入賞数と全国大会への出場など大会結果と日常の活動はどうか。 (4) 各分掌と連携して、委員会活動やホームルーム活動ができたか。	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価

<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会執行部員による定例会議が定着。生徒会行事の企画、運営のための運営シナリオ作成。 ・学校行事の準備の計画的に進行、円滑な運営。広報活動を通じての意識の向上（生徒会新聞の発行）芸術鑑賞の実施。 ・部顧問とHR担任との相互連絡。必要備品の整備。 ・自主的なホームルーム活動の実施。各分掌との連携。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 定例会議を開き、早期に企画運営ができたか。 ② 早期に各分掌へ計画を示し、意見集約、検討ができたか。 ③ 生徒の活動状況をHR担任に伝えることができたか。必要備品の整備ができたか。 ④ LHRの充実を図ることができたか。 	<p>Ⓐ B C D</p> <p>Ⓐ B C D</p> <p>A Ⓑ C D</p> <p>A Ⓑ C D</p>
11 成果 ・ 課題	<p>○学校行事の準備を早くから計画的に進め、その結果円滑に行事を成功させた。昨年の岐農祭の反省を活かし、各種のマニュアル等の再考が図られた。岐農祭の各団体予算は昨年より減ったものもあったが、内容については充実したものが多かった。</p> <p>○生徒会執行部が積極的に岐農祭の運営に関わることができた。（ステージ発表幕間の活用、鑑賞マナーの推進、スタンプラリー等）</p> <p>○表彰を受ける団体や個人生徒が多く、多方面での生徒の活躍が顕著であった。</p> <p>▲LHR時の施設の調整が不十分で、急な対応が必要であった。</p> <p>▲生徒の部活動活動状況報告を年度の中間時点（懇談時）で実施できなかった。</p>	<p>総 合 評 価</p> <p>A Ⓑ C D</p>
<p>12 来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より良い岐農祭を開催するため、各分掌・学科・団体との共通理解を図りながら円滑な運営に努める。 ・生徒会活動をより充実させ、生徒会執行部の後継者育成のための働きかけも積極的に行っていく。 ・各種委員会の活動をさらに活発にし、生徒会執行部との連携を深める。 ・部活動をより活発にし、充実させるための活動しやすい環境を整備していく。 		

2 評価する領域・分野	◇健康管理・安全管理	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒及び保護者の8割以上が安全・衛生面での配慮がなされていると評価している。 ・2割強の生徒が「掃除が行き届いており校内がきれいである」の項目にC評価をつけている。 	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇生徒ひとりひとりが健康と安全に関する自己管理能力を培う。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・保健室を中心とした健康と安全に関心を持たせる指導。 ・命を守るための訓練の実施と様々な災害を想定した防災意識の向上。 ・全職員による清掃活動の指導徹底 	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 保健室を中心とした保健衛生活動と保健委員による点検活動 (2) 安全点検、命を守る訓練、防災情報整備 (3) 全職員による清掃指導と美化委員による点検 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 環境衛生日常点検結果と保健室来室記録・災害報告書による状況把握 (2) 点検結果と行動観察 (3) 係生徒による点検結果 	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評 価
<ul style="list-style-type: none"> ・活発な保健室活動、廊下掲示物の整備、保健委員によるLHR活動 ・安全点検による環境の整備、命を守る訓練の実施 ・毎日（昼休み後）の生徒全員による清掃活動 	<ul style="list-style-type: none"> ① 各自の健康に関心を持つことができたか ② 各自が安全に気をつけたか ③ 身の回りの清掃に気を配ったか 	<p>Ⓐ B C D</p> <p>A Ⓑ C D</p> <p>A Ⓑ C D</p>
11 成	<p>○健康・保健・安全指導が徹底され、生徒自身が健康維持に努める行動（手洗いマスク着用など）が見られた。</p>	
<p>総 合 評 価</p>		

果 ・ 課 題	<p>○保健委員による点検活動やLHR活動など、生徒が積極的に取り組めた。</p> <p>○「命を守る訓練」は、災害時の職員と生徒の初期行動が定着しつつある。</p> <p>▲毎日の全員掃除はしっかり取り組んでいるが、放課後の点検時には階段や廊下が汚れていることもある。掃除の時間帯（日課表）の見直しが必要。また、掃除道具などの不備な場所もある。</p>	A (B) C D
<p>12 来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの健康管理においてはなお一層の働きかけを行う。 ・防災意識をさらに高めるため、「命を守る訓練」をより実効性のある内容にしていく必要がある。 ・職員、生徒の美化意識の向上を目指すために、清掃指導の徹底、掃除道具の充実、放課後掃除で翌日に教室がきれいな状態でSHRを行えるようにしたい。 		

II 学校関係者評価

実施年月日：平成29年 1月19日

<p>【意見・要望・評価等】</p> <p>◇教育課程・学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒のアンケートより、授業の教え方、説明がわかりやすいと答えている。来年に向けての改善方策も考えてあり素晴らしい。 ・基礎知識・技能をきちんと身に付けさせて、新たな学習にも積極的に取り組んでいると思う。 ・先生方のスキルアップをお願いしたい。生徒との信頼関係を強く確かなものにしてほしい。 <p>◇進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路希望に添ったアドバイスなどにより生徒が自分の進路に満足しており先生方の努力に頭が下がる。 ・常に変化している社会の中で、確かな情報を伝えられるようにしてほしい。 ・学校で得られた知識を生かせる農林業へのより多くの生徒が進路選択をすることを期待します。 <p>◇生徒指導・教育相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校生徒も少なく、生徒が問題を起こすこともなく、周辺の住民からもころよく思われ指導が行き届いていると思う。 ・制服もしっかり着用し、重点に「命を守る」という文言があることは素晴らしい。スマホについては社会的な問題であり、指導もなかなか難しい。 ・時間を守ること、身だしなみは、社会でも基本的なことなので、根気よく指導してほしい。 <p>◇特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動、岐農祭、体育祭など生徒がよく育っていることがわかる。胸を張って取り組む姿を見るところからも熱くなります。 ・生徒のやる気を出させる指導を今後もお願いします。 ・学校行事を成功裏に納め、部活動でも数々の成果を上げ、その指導に頭が下がる。 <p>◇健康管理・安全管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎の中の掃除がよく行き届いて美しい。トイレの使い方も美しい。 ・「場を清める」道具や設備を大切にすることを育ててほしい。けがや事故などの防止にもつながる。 ・健康は、生活習慣と心の問題とが深く関わっており、生徒が楽しく学校生活を送れていることが何よりと思います。
--